

02 日本電気(株) > ①こまつ・アグリウエイプロジェクト【石川県】 ②宮崎県立高鍋農業高等学校【宮崎県】

農業ICTシステム

日本電気(株)(NEC)では、天候リスク、農薬・肥料による環境負荷、食の安心・安全への対応など、今後さらに戦略的経営が求められる農業をICTソリューションで支援。販売力を強化するノウハウと技術を集約した「農業事業者向けクラウドサービス」を提供している。

背景

【事例1】こまつ・アグリウエイプロジェクト

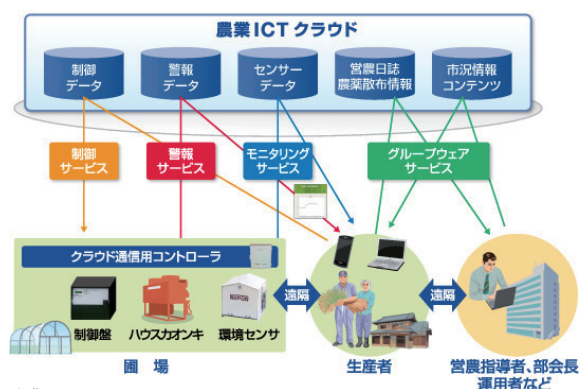
小松市、JA小松市とコマツは、地域経済を活性化させる『こまつ・アグリウエイプロジェクト』を2013年に発足。コマツは農業を支援する数々の施策の一つとして、JA小松市の施設園芸部会青年部の農家5軒に、トマトの収量・品質向上を目指し、2014年5月にNECの「農業ICTソリューション」を導入した。

【事例2】：宮崎県立高鍋農業高等学校

宮崎県高鍋町の高鍋町企業誘致コーディネーターからの紹介により、宮崎県立高鍋農業高等学校にNECの「農業ICTソリューション」を導入した。

概要

- 環境センサが検知した温度、湿度、炭酸ガス、日射などの情報を定期的にクラウドで収集。パソコンやスマートフォンなどの画面上で農業現場の環境情報をいつでもどこからでも参照することができる。
- ハウス内の温度異常警報を、農家のパソコンやスマートフォンなどへメールで通知。
- 営農日誌には作業履歴や収穫量などを簡単に入力することができる。
- 農薬散布記録簿は散布した農薬をリストから選択するだけで簡単に記録することができ、記録内容を帳票として出力することができる。農薬の規定回数や量を超える前に警告を出すなど、農薬散布の管理をサポートする。



出典
http://jpn.nec.com/solution/agri/service/production_support.html

アピールポイント

温室用温風暖房機の国内でトップメーカーであるネボン(株)とNECが組み、農業ICTソリューションを開発・展開。これまでに500以上の農家への導入実績を誇る。

【事例1】こまつ・アグリウエイプロジェクト

IT導入による栽培環境(温湿度など)の可視化でハウス内の栽培環境変化を把握できるようになり、栽培状況実績との合わせによる栽培手法の改善に取り組めるようになった(現在検証中)。いつでもどこでも栽培環境を把握できるため、ハウス巡回が効率化された。

【事例2】宮崎県立高鍋農業高等学校

IT導入による栽培環境(温湿度など)の可視化でハウス内の栽培環境変化を授業で活かせるようになり、栽培実習と座学がリンクし、生徒の学習意欲向上に寄与した。



Key Person

- 「こまつ・アグリウエイプロジェクト」では、プロジェクトリーダーであるコマツを介してNEC北陸社に依頼があった。プロジェクトでは、石川県南加賀農林総合事務所、JA小松市にご尽力いただいた。
- 「宮崎県立高鍋農業高等学校」の農業ICTソリューション導入に関しては、宮崎県高鍋町の高鍋町企業誘致コーディネーターからの仲介により、NEC九州支社に依頼があった。システムの導入にあたっては、宮崎県立高鍋農業高校教諭にご尽力をいただいた。

日本電気株式会社 新事業推進本部 <http://jpn.nec.com/solution/agri/>

〒108-0014 東京都港区芝5-7-1 Tel 03-3798-8910/Fax 03-3798-9941/e-mail: info@agri.jp.nec.com